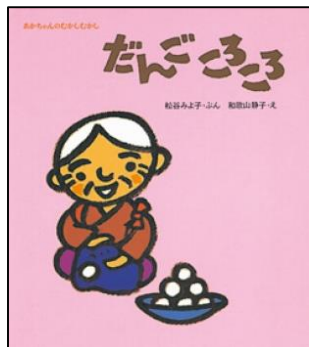


としょかん つうしん

2月号



2月は節分の季節ですね。今回は「昔話」をテーマに集めてみました。
鬼が出てくるお話もあれば、さるやヒョウのお話もありますよ。ぜひどうぞ。

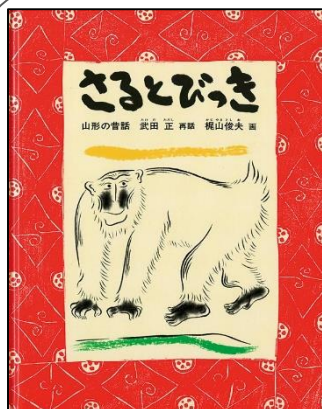


『だんごころころ』

あかちゃんから

松谷みよ子 ぶん 和歌山静子 え
童心社

ばあさまがだんごを作っていると、一つ転がって穴の中へ。ばあさまが追いかけると、その先にはお地蔵さまがいて…。ばあさまとお地蔵さまのやりとりが楽しく、リズムのある文章とやわらかい絵にあたたかみを感じる昔話です。



『さるとびっき』

年中くらいから

武田正 再話 梶谷俊夫 画
福音館書店

「むかし、あったけど。」ではじまる山形に伝わる昔話。ある日、さるが、びっき（かえる）を田んぼ作りに誘いますが…。さるのずるがしこさと、びっきとのかけあいがコミカルに描かれ、方言の語り口調が印象的です。さるのほっぺたとおしりが、なぜ赤いのか、その理由の一説がわかりますよ。



『むらの英雄』

年長くらいから

わたなべしげお 文 にしむらしげお 絵
瑞雲舎

12人の男たちがまちへ粉をひきに行きました。その帰り、仲間のうちの1人が全員そろっているか数えますが、自分を数え忘れたので11人しかいません。他の男たちが数えても、やっぱり11人。きっと、ヒョウに食べられてしまったのだと、皆はその男のことを思いながら、村へ帰りますが…。エチオピアの昔話です。

※対象は目安です。対象以外のお子さまでも楽しめます。

同様のもの、過去のものを取手市立図書館のホームページ上でも公開しています。

[おすすめえほん](#) [取手市立図書館](#)で検索